

定期作況報告

(第 6 号 令和7年10月20日現在)
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

- 令和 7 年 9 月下旬から 10 月中旬までの平年との比較による気象は次のとおりである（表 1）。
- 9 月下旬：最高気温は並、最低気温はやや高く、平均気温はやや高かった。降水量はやや多く（平年比 135%）、日照時間は並だった（平年比 105%）。
- 10 月上旬：最高気温は極めて高く、最低気温は並、平均気温はやや高かった。降水量は極めて少なく（平年比 9%）、日照時間は多かった（平年比 177%）。
- 10 月中旬：最高気温は低く、最低気温は並、平均気温はやや低かった。降水量はやや少なく（平年比 66%）、日照時間はやや少なかった（平年比 70%）。

表 1. 気象表

月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
9月 下旬	14.6	14.0	0.6	20.9	20.6	0.3	9.6	8.3	1.3
10月 月上旬	12.9	11.6	1.3	19.7	17.1	2.6	6.9	6.7	0.2
10月 中旬	7.6	8.4	-0.8	12.3	14.4	-2.1	2.8	3.0	-0.2
平均値	11.7	11.3	0.4	17.6	17.4	0.3	6.4	6.0	0.4

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
9月 下旬	38.0	28.1	9.9	60.6	57.5	3.1
10月 月上旬	4.5	50.5	-46.0	70.8	40.0	30.8
10月 中旬	26.5	40.1	-13.6	31.5	44.9	-13.4
平均値	23.0	39.6	-16.6	54.3	47.5	6.8

2. 作 況

1) 水稻 やや不良

5月20日現在：平年並

事由： 播種は平年より3日遅い4月18日に行った。出芽の揃いは良好であった。

移植は平年より2日遅い5月21日に行った。移植時の草丈は平年に比べ0.6～1.0cm長く、第1葉鞘高は並から0.2cm長かった。葉数は並から0.4葉多く、茎数は平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は、「ななつぼし」は平年並で「ゆめぴりか」では0.34g重かった。苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はいずれの品種とも平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：平年並

事由： 移植後の5月下旬はやや低温であったが、日照時間は平年をやや上回り生育は概ね順調であった。その後6月上旬および中旬の気温は平年並から高かったため、6月20日の草丈はやや長く、葉数は平年並みからやや多い。茎数は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや不良

事由： 6月下旬から7月中旬の気温が高温で経過したため、生育はかなり早く進んだ。各生育期節は平年より早く、幼穂形成期は1～2日、止葉期は3～4日、出穂期は6～7日早かった。7月20日の草丈はやや長く、主稈の止葉葉数は平年並からやや多く、茎数は平年に比べて9～18%少なかった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

8月20日現在：やや不良

事由： 7月下旬以降は高温傾向であり、登熟は順調に進んでいる。成熟期の稈長はやや長く、穂長は平年並で、穂数は5～13%少なかった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

9月20日現在：やや不良

事由： 平年と比べて登熟期間の平均気温はやや高く、日照時間はやや少なかった。このことにより成熟期は平年より8日早く、登熟日数は平年よりやや短かった。稈実歩合は「ななつぼし」で平年より0.5ポイント、「ゆめぴりか」で1.9ポイント高かった。一穂実数は平年並から7%多く、m²当たり稈実実数は両品種とも平年の95%であった。登熟歩合はほぼ平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

10月20日現在：やや不良

事由： 精実重は平年比95%であった。屑米歩合は「ななつぼし」で平年並、「ゆめぴりか」で平年より1.9ポイント高かった。精玄米千粒重は両品種とも1.0g重く、精玄米重は「ななつぼし」が66.7kg/a、「ゆめぴりか」が59.7kg/aで、各々平年比98%、95%とやや低収であった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

表 2. 10月20日の水稻の生育

品種名			ななつぼし			ゆめぴりか		
項 目 / 年 次			本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月. 日)		4. 18	4. 15	3	4. 18	4. 15	3
	移植期 (月. 日)		5. 21	5. 19	2	5. 21	5. 19	2
	幼穂形成期 (月. 日)		6. 21	6. 22	△ 1	6. 21	6. 23	△ 2
	止葉期 (月. 日)		7. 06	7. 09	△ 3	7. 06	7. 10	△ 4
	出穂期 (月. 日)		7. 13	7. 19	△ 6	7. 12	7. 19	△ 7
	成熟期 (月. 日)		8. 27	9. 04	△ 8	8. 27	9. 04	△ 8
	穂揃日数 (日)		7	8	△ 1	7	8	△ 1
	登熟日数 (日)		45	47	△ 2	46	47	△ 1
	生育日数 (日)		131	142	△ 11	131	142	△ 11
移植時	草丈 (cm)		15. 3	14. 3	1. 0	14. 8	14. 2	0. 6
	葉数 (枚)		4. 2	4. 1	0. 1	4. 6	4. 2	0. 4
	茎数 (本/m ²)		146	147	▲ 1	157	155	2
	第1葉鞘高 (cm)		2. 6	2. 4	0. 2	2. 4	2. 4	0. 0
	地上部乾物重 (g/100本)		4. 68	4. 66	0. 02	5. 00	4. 66	0. 34
	地上部乾物重/草丈		0. 31	0. 33	▲ 0. 02	0. 34	0. 33	0. 01
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8. 3	8. 1	0. 2	8. 9	8. 4	0. 5
		7月20日	10. 3	10. 1	0. 2	10. 9	10. 5	0. 4
		止葉葉数	10. 3	10. 1	0. 2	10. 9	10. 5	0. 4
	茎数 (本/m ²)	6月20日	557	538	19	589	611	▲ 22
		7月20日	655	719	▲ 64	688	839	▲ 151
	草丈 (cm)	6月20日	45. 3	41. 5	3. 8	41. 3	38. 6	2. 7
7月20日		92. 9	85. 1	7. 8	89. 4	84. 3	5. 1	
成熟期	稈長 (cm)		75. 3	69. 4	5. 9	68. 5	66. 2	2. 3
	穂長 (cm)		17. 0	16. 8	0. 2	16. 7	16. 9	▲ 0. 2
	穂数 (本/m ²)		639	673	▲ 34	684	783	▲ 99
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		50. 2	50. 8	▲ 0. 6	45. 8	43. 0	2. 8
	m ² 当たり粒数 (×100)		321	340	▲ 19	313	336	▲ 23
	稈実歩合 (%)		96. 2	95. 7	0. 5	94. 9	93. 0	1. 9
	m ² 当たり稈実粒数 (×100)		309	325	▲ 16	297	312	▲ 15
	同上比 (%)		95	100	▲ 5	95	100	▲ 5
	登熟歩合 (%)		89. 4	89. 0	0. 4	83. 4	83. 9	▲ 0. 5
	粒摺歩合 (%)		82. 0	81. 1	0. 9	77. 7	78. 7	▲ 1. 0
	屑米歩合 (%)		1. 9	1. 8	0. 1	5. 5	3. 6	1. 9
収量	精玄米千粒重 (g)		23. 4	22. 4	1. 0	23. 7	22. 7	1. 0
	藁重 (kg/a)		69. 6	65. 3	4. 3	62. 3	62. 6	▲ 0. 3
	精粒重 (kg/a)		79. 4	83. 3	▲ 3. 9	75. 1	79. 3	▲ 4. 2
	精玄米重 (kg/a)		66. 7	68. 1	▲ 1. 4	59. 7	62. 7	▲ 3. 0
	屑米重 (kg/a)		1. 3	1. 2	0. 1	3. 4	2. 4	1. 0
	収量平年比 (%)		98	100	▲ 2	95	100	▲ 5
検査等級 (等)			1下	-		2上	-	

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶年）、令和6年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施 肥：成苗培土Hを約1.43 (kg/箱) 充填、

成分量 N 0.5、P₂O₅ 1.0、K₂O 0.8、MgO 0.2 (g/箱)、

置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 5.0 (g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施 肥 量：N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9 (kg/10a)、堆肥 0 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R7年播種) やや不良

10月20日現在：やや不良

事由： 播種は平年より2日遅い9月18日に行った。出芽期は平年より1日遅かった。出芽期以降の気象は10月中旬の気温が低い傾向であったことから、葉数、草丈は平年並みであったが、茎数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

表3. 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名		きたほなみ		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.18	9.16	2
出芽期 (月.日)		9.26	9.25	1
出穂期 (月.日)			6.02	
成熟期 (月.日)			7.13	
越冬茎歩合 (%)			116.8	
雪腐病発病度			6.4	
葉数(枚)	令 7年10月20日	4.5	4.5	0.0
草丈 (cm)	令 7年10月20日	19.3	19.0	0.3
	令 8年 5月20日		52.0	
	令 8年 6月20日		91.5	
茎数 (本/m ²)	令 7年10月20日	594	765	▲ 171
	令 8年 5月20日		1201	
	令 8年 6月20日		681	
成熟期	稈長 (cm)		84	
	穂長 (cm)		8.3	
	穂数 (本/m ²)		598	
子実重 (kg/10a)			584	
同上平年比 (%)			100	
容積重 (g/L)			833	
千粒重 (g)			38.8	
蛋白質含有率 (%)			8.9	
検査等級 (等)			1	—

注1) 平年値は前7か年中、収穫年における令和5年（最豊年）、令和2年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 大豆 良

5月20日現在：

事由： 播種は平年より3日早い5月16日に行った。

6月20日現在：平年並

事由： 出芽期は平年より2日遅い6月1日であった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：良

事由： 開花期は平年より4日早かった。6月下旬以降、気温がかなり高く推移したことから、主茎長はかなり長く、主茎節数と分枝数は多かった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

8月20日現在：良

事由： 前報以降も生育は順調に進み、主茎長は平年に比べかなり長く、主茎節数はやや多く、分枝数は平年並みで、着莢数はかなり多かった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

9月20日現在：良

事由： 成熟期は平年より1日早かった。8月下旬以降、降水量が多く推移し、倒伏が見られた。主茎長、着莢数は平年を上回り、主茎節数、分枝数は平年並みであった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

10月20日現在：良

事由： 前報のとおり成熟期の莢数が多く、子実重は平年比123%と多収であった。百粒重は平年よりやや重く、屑粒率は平年並みであった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

表 6 . 10月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目	年 次	本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.16	5.19	△ 3
出芽期 (月.日)		6.01	5.30	2
開花期 (月.日)		7.06	7.10	△ 4
成熟期 (月.日)		9.13	9.14	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	16.3	14.7	1.6
	7月20日	74.2	56.4	17.8
	8月20日	75.1	59.6	15.5
	9月20日	75.3	58.2	17.1
	成熟期	75.3	58.2	17.1
主茎節数 (節)	6月20日	4.1	3.9	0.2
	7月20日	10.9	9.6	1.3
	8月20日	11.0	10.3	0.7
	9月20日	10.7	10.2	0.5
	成熟期	10.7	10.2	0.5
分枝数 (本/株)	7月20日	7.2	5.9	1.3
	8月20日	6.2	6.5	▲ 0.3
	9月20日	6.3	6.1	0.2
	成熟期	6.3	6.1	0.2
着莢数 (個/株)	8月20日	109	81	28
	9月20日	107	81	26
	成熟期	107	81	26
子実重 (kg/10a)		498	406	92
同上平年比 (%)		123	100	23
百粒重 (g)		33.8	33.1	0.7
屑粒率 (%)		1.1	1.4	▲ 0.3
検査等級 (等)			2中	

注1) 平年値は前7か年中、令和5年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を示す。

4) 小豆 不良

6月20日現在：やや良

事由： 播種は、平年より1日早い5月23日に行った。主茎長はほぼ平年並で、本葉数は平年を上回った。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

7月20日現在：良

事由： 気温が高く推移したことから生育が順調に進み、分枝数は平年並であったが、主茎長は平年よりかなり長く、本葉数は平年より多かった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

8月20日現在：やや不良

事由： 開花期は平年より3日早かった。7月下旬以降気温は高く推移し、前報期間7月中旬の降雨により得た土壌水分や8月中旬の降雨による土壌水分も十分にあったことから地上部生育が旺盛となり、主茎長は平年よりかなり長く、本葉数および分枝数は平年より多く、倒伏が目立った。また、高温の影響と考えられる落花・落莢により着莢が緩慢となり、着莢数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

9月20日現在：やや不良

事由： 成熟期は平年より10日早かった。主茎長は平年よりかなり長く、主茎節数、分枝数も多かった。着莢数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

10月20日現在：不良

事由： 前報のとおり成熟期の莢数が少なく、百粒重も平年よりやや軽く、子実重は平年比92%であった。屑粒率は平年よりやや高かった。

これらのことから、目下の作況は「不良」である。

表 6 . 10月20日の小豆の生育

品 種 名		エリモ167		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.22	5.23	△ 1
出芽期 (月.日)		6.05	6.07	△ 2
開花期 (月.日)		7.20	7.23	△ 3
成熟期 (月.日)		8.31	9.10	△ 10
主茎長 (cm)	6月20日	5.2	5.3	▲ 0.1
	7月20日	33.7	25.9	7.8
	8月20日	77.5	63.7	13.8
	成熟期	82.0	69	13.0
本葉数 (枚)	6月20日	1.4	1.1	0.3
	7月20日	10.0	8.1	1.9
	8月20日	16.1	13.1	3.0
主茎節数 (節)	成熟期	16.9	13.1	3.8
分枝数 (本/株)	7月20日	5.6	5.8	▲ 0.2
	8月20日	7.5	5.8	1.7
	成熟期	6.4	5.7	0.7
着莢数 (個/株)	8月20日	56	59	▲ 4
	成熟期	48	54	▲ 6
子実重 (kg/10a)		304	331	▲ 27
同上平年比 (%)		92	100	▲ 8
百粒重 (g)		12.8	13.8	▲ 1.0
屑粒率 (%)		4.7	3.2	1.5
検査等級 (等)			3上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。